さとう記念病院における 院内感染防止対策に関する取り組み事項

①院内感染対策に関する基本的事項

感染防止対策は、安心・安全な医療提供の基盤となるものです。感染防止対策を病院全体として取り組み、病院に関わる全ての人々を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行うことに努めます。

②院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項

感染対策に関する院内全体の問題点を把握し、改善策を講じるなどの院内感染対策活動の中核的な役割を担うために、院内感染防止対策委員会を設置し、毎月1回会議を開催します。

さらに、実働部隊として感染防止対策部を設置し、内部に組織横断的な感染対策チーム（ICT）を設置し、週1回の会議・ラウンドを行います。

③院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針

職員の感染防止対策に対する意識・知識・技術向上を図るため、全職員を対象とした感染対策に関する研修会を年2回以上開催します。

④感染症の発生状況の報告に関する基本方針

法令に定められた感染症届出のほか、院内における耐性菌等に関する感染情報レポートを作成し、感染対策チームでの検討および現場へのフィードバックを実施します。

⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針

感染症患者が発生または疑われる場合は、感染対策チームが速やかに対応します。また、必要に応じ、協力関係になる地域の他医療機関や保健所と速やかに連携し対応します。

⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

この指針は患者さんおよびご家族様に感染対策への理解と協力を得るため、院内掲示を行い、積極的な閲覧の推進に努めます。

⑦病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針

院内感染対策の推進のため、「院内感染対策マニュアル」を整備し全職員への周知徹底を図るとともに、マニュアルの定期的な見直しを行います。

令和7年4月1日